



東北大学



2012年11月12日
東北大学大学院医学系研究科
東北大学東北メディカル・メガバンク機構

遺伝子診療を患者に寄り添って支える専門家： 認定遺伝カウンセラーを大学院で養成

- 遺伝カウンセリングコースの新設について -

東北大学大学院医学系研究科では、平成25年4月に認定遺伝カウンセラーの養成コースを新たに開設します。

先端的な技術の進歩によって、私たちのゲノムの情報を利用した検査や診断など遺伝子医療が始まり、また、薬の副作用予測など、ゲノムの個人差を用いたオーダーメイド医療（個別化医療）が行われる時代を迎えています。すなわち、すべての診療科にゲノム情報を利用した医療がスタートしています。そのゲノム情報に基づく遺伝子医療や個別化医療の恩恵を受けるには、正しく偏りない最新の情報提供・情報整理と検査等を決める際やその後の心理社会的支援、すなわち、遺伝カウンセリングが必須です。さらに東北メディカル・メガバンク事業において計画されているコホート研究のひとつのゲノム解析研究に際しても、遺伝カウンセリング体制の整備が必要となります。

この遺伝カウンセリングの担当者として、ゲノムに関する最新の知識を有し、優れたコミュニケーション能力を備え、かつ患者・家族の立場にたって協働できる高度医療専門職である認定遺伝カウンセラー（CGC: Certified Genetic Counselor）の養成のためのコースを医科学修士課程に平成25年4月に新たに開設いたします。本コースは、北日本1道6県にて初めての養成専門課程となります。

教育には、認定遺伝カウンセラー制度委員会（日本人類遺伝学会、日本遺伝カウンセリング学会）の到達目標に準じた必要カリキュラムに沿って行います（現在、認定養成課程の認可申請中）。認定遺伝カウンセラー資格取得後には、本学や東北地方の各大学・医療機関、地域の保健センターで遺伝カウンセリングをチーム医療の一員として担います。さらには、本コースでは、製薬・検査企業でのゲノムの専門家として、GMRC（ゲノムメディカルリサーチコーディネーター）やCRC（臨床研究支援者）^{*1}らと協働して研究プロジェクトの支援、また、多様性としてゲノムや遺伝子医療の社会への啓発などの幅広い役割も担えるように育成します。

東北大学病院において遺伝カウンセラー養成の臨床実地教育をおこなう臨床遺伝専門医指導医の数は6人と全国の大学病院のなかで最も多く、万全の教育指導体制が整えられています。

本コースでは、本学の保健学科卒業生など医療保健、生物学科卒業生などの生命科学系の出身者を主な対象として募集します。加えて医療系国家資格の既所有者の社会人入学者も考慮し、大学院医学系研究科医科学専攻修士課程（40人）の一部として若干名を募集します。

有為な人材を育成するべく、本コースへの御支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

参考

*1 東北大学大学院医学系研究科では、高度化・多様化する臨床研究のニーズに即応できる人材を養成するため、医科学専攻修士課程に臨床研究支援者育成コースを2011年に開設し、既に入学者を迎えている。

2011年5月23日付プレスリリース：<http://www.med.tohoku.ac.jp/index.php/article/show/id/1012>

お問い合わせ先

【大学院入試に関すること】

東北大学大学院医学系研究科 大学院教務係

TEL: 022-717-8010

E-mail : m-daigakuin@bureau. tohoku. ac. jp

【報道関係ほか】

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

長神 風二（ながみ ふうじ）

電話番号 : 022-717-7908

ファックス : 022-717-8187

Eメール : f-nagami@med. tohoku. ac. jp